

## V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を解放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

### 1 農業技術の啓発

#### 1) 市民農業講座

地域住民を対象に、毎年4月上旬に開催される展示即売会にあわせ、農業に係わる今日的な話題をわかり易く解説した公開講座を開催している。平成19年度は第39回市民農業講座として以下の講座を開講した。

開催日：4月5日（木）

講座名：「果樹の増やし方－接ぎ木、挿し木、取り木－」

講師：鹿児島大学農学部附属農場唐湊果樹園技術職員 野村哲也・中野八伯・寺本玲香

### 2 地域活動に対する支援

#### 1) 八重山高原星物語

坂田農場長と伊村動物部門主任が「八重山高原星物語」の実行委員に就任し、会発展のための助言を行っている。

### 3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

#### 1) 自然とのかかわりから生まれる活動（学内農場農事部）

対象：鹿児島大学教育学部附属小学校、5年生、160名

時期：6月13日～10月31日

内容：水稻の播種から稲刈りまでを体験させ、主食である米がどのようにしてつくられるかを学ぶとともに、働くことと食物への感謝の気持ちを醸成させる。5月に播種、6月に田植え、7月に草取り、10月に稲刈りを行う。

#### 2) お芋ができるまで（学内農場農事部）

対象：めぐみ幼稚園、園児、50名

時期：5月：芋植え、11月：芋掘り

内容：自然とかけ離れた環境で育った園児に、土にまみれてサツマイモを育てることを介して、自然と食に興味を持つようする。5月にサツマイモの苗植え、11月に収穫を行う。

#### 3) 昆虫たちの生活をみる（唐湊果樹園）

対象：中郡小学生、60名

時期：5月8日

内容：教科書に出てくる昆虫の実物を観察させ、理科教育の効果を高める。

#### 4) ミカンのふるさと（唐湊果樹園）

対象：鹿児島大学教育学部附属幼稚園、園児、66名

時期：10月30日

内容：店頭に並ぶミカンが樹になることを学ばせ、食べ物の不思議さを理解させるために、ミカン狩りを行う。

### 4 施設の公開

周辺住民の散策場所として、農場を常時解放するとともに、自治体や団体等が開催するイベントに対して、要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

#### 1) 農場へようこそ（学内農場農事部、唐湊果樹園）

対象：一般市民

時期：随時

内容：鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は、農場見学、俳句読み、植物採集、写真撮影、散策

など、都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては、癒しの空間として農場を整備し、市民に開放するとともに、来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

2) 八重山高原星物語2007入来牧場)

対象：一般市民

時期：8月5日 9時～21時

内容：薩摩川内市主催のイベント（VERA 施設公開，望遠鏡施設公開，親子科学実験もの作り，リバースクール「水辺で遊ぼう」，特産品出店など）の一環として入来牧場施設の公開を行っている。

5 生産物の販売

学生実習に伴って産出される農産物の有効利用を図る観点から、生産物の展示即売会を下記のような日程で開催している。

1) 農場4施設合同の展示即売会

対象：一般市民，約3,000名

時期：4月4日（水）～5日（木）9時～16時

場所：学内農場の一角にテント張りの特設会場を設営して開催

内容：実習で生産した米，野菜，苗物，花卉，観葉植物，果物，牛肉など約200品目20,000点を農場職員と学生が一体となって開催する展示販売会である。

2) 農場4施設合同の定期販売会

対象：一般市民

時期：毎月，第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所：学内農場販売所

内容：実習で生産した米，野菜，苗物，花卉，観葉植物，果物，牛肉などを販売している。

3) 施設毎の定期即売会

(1) 唐湊果樹園

対象：一般市民

時期：毎月，第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所：唐湊果樹園

内容：実習で生産した果物を販売している。

(2) 指宿植物試験場

対象：一般市民

時期：毎週月曜日の昼休み時に開催

場所：指宿植物試験場

内容：実習で生産した熱帯果実，観葉植物などを販売する。